

# ハートケア 通信

2010年 5月号

発行:平成22年5月1日 NO.80

ハートケアグループ 〒583-0021

大阪府藤井寺市御時町1-63

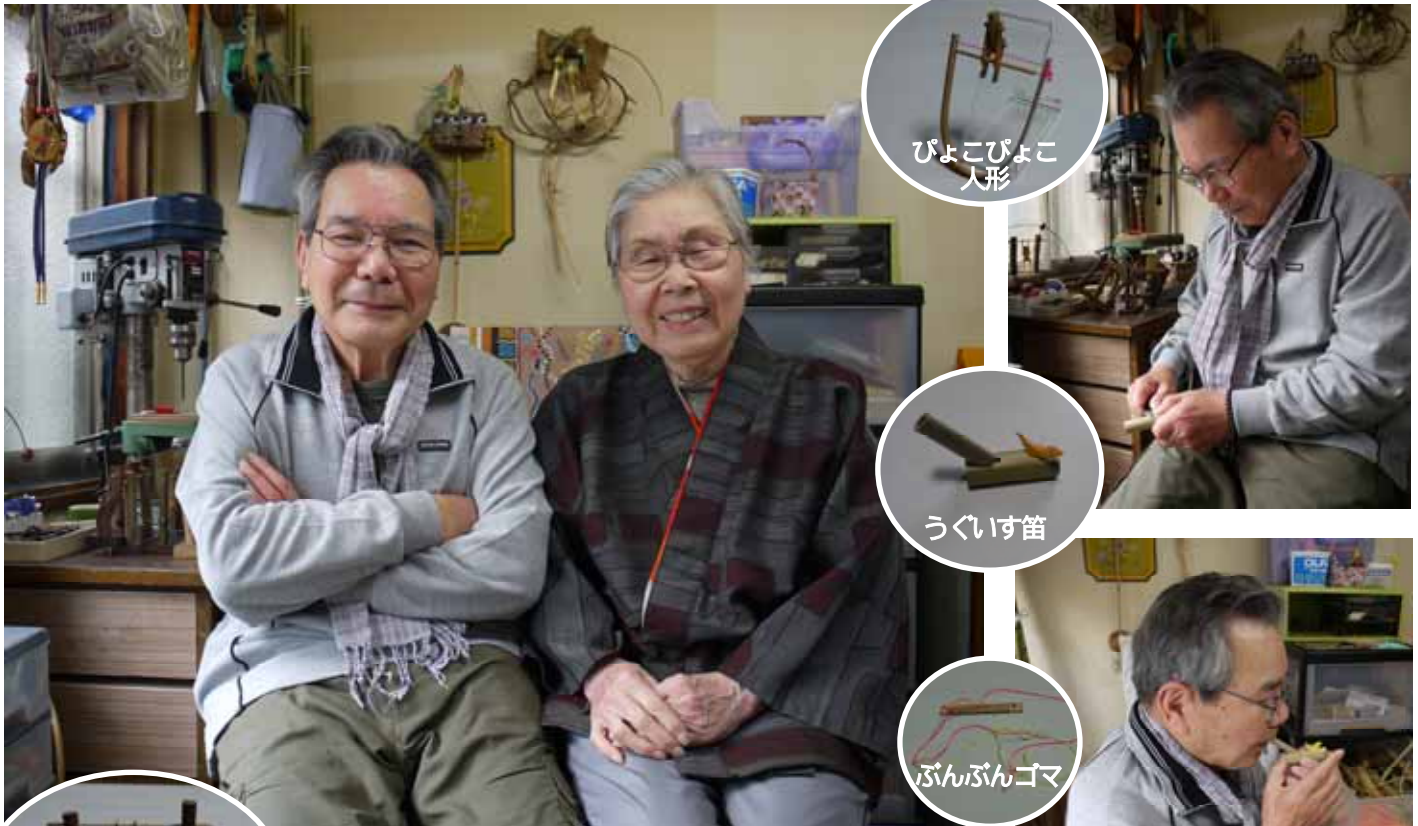
藤井寺オフィスビル

編集:ハートケア通信編集委員

TEL 072-931-2355

FAX 072-931-2720

<http://www.medi-care.co.jp/>



びよこびよこ  
人形

うぐいす笛

ぶんぶんゴマ

鉄棒

メディケア・リハビリ  
訪問看護ステーションをご利用の A様

## 今の特集 全体交流会 報告その5 居宅介護支援事業所の取り組み

ハートケアグループ since 1988

**大**阪ホームケアサービス

**メ**ディケア・リハビリ

**青**蓮荘

**N**PO法人ケア・ユニゾン

ご利用者総数 2373名(以下、内訳)

- ・ケアプラン事業 899名・レンタル事業 507名
- ・訪問介護事業(自立支援54名含む) 440名
- ・通所介護事業 487名 ・訪問入浴事業 7名
- ・有料老人ホーム 90名 ・たに整骨院 111名
- ・訪問看護事業 1083名
- ・その他 リハビリ委託事業など  
(平成22年4月1日現在)
- ・住宅改修事業 16件(平成22年3月施工)

470名のスタッフが皆様の在宅生活をサポートいたします。(平成22年4月1日現在)

# 全体交流会報告その5 居宅介護支援事業所の取り組み

## 気づきをつなぎ、チームケアの輪を広げていこう!

昨年10月4日に行われたハートケアグループ第一回全体交流会でのご利用者の自立を目指したサービスのチームとしての取り組みの報告の紹介も、今月で最後の5例目となりました。

今回紹介するのは、居宅介護支援事業所が各サービスマスターと連携をとり情報を共有し、チームケアを作り上げているケースです。

突然の脳幹出血により、要介護4になったY様。自宅で暮らしたいと強く希望するY様と、私が世話をすると決心された奥様をハートケアグループで援助協力させていただいたケースで、1年6ヶ月がたちました。お二人のがんばりと主治医の先生の的確なご指示やご意見、そしてメデイケア・リハビリ訪問看護ステーション、デイホーム藤井寺、リハビリプラザ羽曳野、メデイケア・リハビリレンタル事業所、有料老人ホームのスタッフによるチームケアで取り組み、ADL(日常生活動作)の大きな変化や誤嚥性肺炎、骨折等もなく在宅生活を送られています。

### 連携シートの活用

情報を共有する手段として、連携シート(図1)というものを作

りました。

まず、上段の記入欄「みなさん聞いてください」の所に気づいたことやサービスマスター提供で困ったこと、問題点、ちよっとしたことや伝えたい事などを記入します。そして居宅からデイサービス事業所、レンタル事業所、訪問看護師、理学療法士と、それぞれが専門職としての見解や意見を記入し順番にFAXしていきます。最後にまとめ等を記入し再び各事業所に通達します(もちろん個人情報には十分配慮をします)。そうしてお互いの意見交換や提案を通じて、関わらせていただいている者が共通認識をもち同じ方向性に向けて援助できるよう努めています。

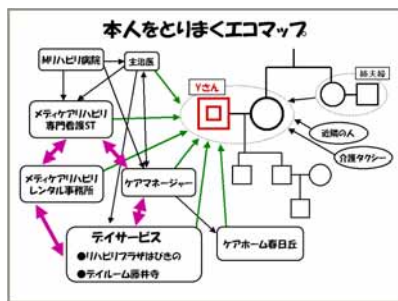


(図1): 連携シート

### 本人をとりまくエコマップ

次にご本人を取り巻くエコマップを作りました(図2)。エコマップというのはその方を取り巻くすべての関わりを表にあらわしたものです。Y様ご夫妻をファミリーサービスとインフォーマルサービス(家族、親戚、近隣、ボランティア等)がいつたいたどのように関わっているのか、図に書き込むことで、どんな方向に が向いて

いるのかが分かります。それが一方通行なのか、両方から関わりや情報提供されているのか、またご本人に向けて発進されているのか、関わり方の強弱など表にすることで、連携や情報の様子が見えてきます。サービスマスターの私たちが連携シートを活用してひとつの輪になって支援しています。



(図2): エコマップ

### Y様の支援

Y様の「自分でやりたい」という意欲を大切にします。奥様にゆとり(自由にできる空間・時間・体力)がもてるようサポートしていきます。私たちが連携を深め、ご夫婦に安心と笑顔をお届けできるよう、チームケアの輪を繋いでいきたいと思えます。



介護保険部長  
宮下弥生

### ご利用者インタビュー (表紙写真)

今月は、メデイケア・リハビリ訪問看護ステーションの訪問リハビリをご利用のA様をご紹介します。A様は門真市にお住まいの81歳。5年前から3度腰の手術をされ、左足にしびれがあり、杖歩行されています。

A様は、「子供の頃お遍路さんが家に泊まり、裏山の竹でおもちやを作って遊んでくれたのが竹のおもちやとの出会いでした。そのおもちやを見て子供の頃から竹を削って細工をしていました。」と話してくださいました。その時の事がずつと頭にあつたのでしょうか。57歳で車の免許をとり定年後には、車に道具を乗せ、公園で子供達に竹細工のおもちや作りと遊び方を教える趣味活動を始められました。A様は竹細工のおもちや作りの名人です。色々見せてくださいました。ぶんぶんゴマ、うぐいす笛、ぴよこびよこ人形、鉄棒、たけとんぼ、竹鉄砲、どれも作った人の手の温もりが伝わってきて、かわいくて、幸せな気分になってくれます。ぶんぶんゴマをうまく回せない私に手をとって教えてくださいました。こうして子供達に教えてあげているんだなあと思いました。

そして神戸震災の年、「毎週ボランティアで、竹とんぼとお芋さんを持って神戸に徒歩で入り、被災した子供達と遊び、焼き芋を作って食べました。一番美味しいと喜んでくれました。」

核家族が当たり前のようになり、子供達はおじいさんやおばあさんから手作りのあそびを教えるももう事がなくなりました。また、テレビゲームが大流行し、部屋の中で画面とにらめっこという遊びが定着してしまいました。そんな現在の子供達に昔ながらの「野あそび」を伝えたい。そんな思いの時、豊中の上新田天神社で「鎮守の森の学校」という集まり

## ★★ 便利な福祉用具の紹介 ★★

今月は、昨年12月藤井寺市にリハビリの視点から福祉用具レンタル・販売・住宅改修などを行なう事業所として開設した「リハ・メディックス」から紹介をさせていただきます。リハ・メディックスの責任者の上垣内 信治(かみがいと しんじ)です。今後も定期的に福祉用具のご案内をさせていただきます。

今回紹介させていただきますのは、長時間快適に過ごせる車椅子「**ネッティ**」です。この車椅子の優れている所は、以下の2点です。

**ティルト・リクライニング機能**を使うことで体圧を効果的に分散できる為、長時間座っていても快適に過ごすことができます。フットレスト(足を置くところ)の角度調節も可能で、ティルト・リクライニング角度に合わせて自然な姿勢を保つことができます。



ティルト・リクライニング機能は上図のような動きをします

商品名：**ネッティⅢ**

背もたれシートの張りを調節、肘かけや足の置く位置、頭の置く位置などを調節が可能で簡単に体型や姿勢に合わせられます。

シートの素材はNASAが開発した吸湿性に優れた素材を使用しています

床ずれ対応クッション・テーブルなど各種オプションが有ります

肘かけや足の部分を取り外し可能で、移乗しやすくなります

座面の後ろはメッシュになっている為、除湿に優れているだけでなく、骨盤を正しく安定することができます



車椅子本体レンタル：2600 単位  
オプションは別途負担となります

また、ご利用者のお体に合わせて調整することも可能です。長く座るとお体が傾き、安定して座れない・座っていると尻が前にずれやすい・床ずれが出来やすいなどがございましたら、一度ご相談頂ければと思います。ご自宅での生活が快適になるようにご支援させていただきます。

リハ・メディックス 問い合わせ先：072-931-2760  
理学療法士：上垣内 信治、義肢装具士：野口 高



ハートケア通信編集部  
インタビュアー  
上田美津子

を開いていた「日本野あそび協会」を知り、加わりました。海外での活動も経験されています。

「今の子供達はどうなですか？どんな事を伝えたいですか？」と尋ねると、「少年事件で問題になって、今はナイフを持たさないが、もつとナイフを使えと言いたいね。ナイフは道具の原点。失敗し、ときにけがをする。痛みを知り、手加減を覚え、工夫を知る。それと今の子供はしゃべらんね。声も小さい。親が横から代弁する。お母さんはだまっという！僕はこの子に聞いてるんや。と言つて怒るんですよ。」このようにA様は、子供達に手作りおもちゃを通して、大切な事をたくさん伝えようとしていらつしやいます。

「もつと歩けたらなあ。もつとどこにも行けるのに。」と残念そうなA様。毎日足湯をし、1キロ口よつとを50分くらいかけて歩いていきます。「訪問リハビリを週2回受け、奥様は「背中が伸びて姿勢がよくなつた様な気がしますよ。」とおつしやっていました。趣味活動を継続する為にも、歩行距離を伸ばし、しびれを軽減する為、療法士が姿勢や運動量を注意して評価・観察し、リハビリを行っています。

左足はしびれますが、今も毎月豊中の上新田天神社に出かけ、「野あそび」を伝えていらつしやいます。A様に教えてもらっている目をきらきらさせた子供たちの顔が浮かぶようです。「野あそび」を通してたくさんのお会いを経験され、「出会いが財産です。」とおつしやるご夫婦。いぶん仲の良い同じ志や価値観を持ったご夫婦です。これからも日本の子供たちの為、にそしてご自身の生きがいの為に「野あそび」を楽しんでくださいな。



### デイルームだより



『桜見て抹茶楽しむ野点かな(利用者作)』  
リハビリプラザ門真では4月に1週間かけて野点を行いました。

赤のフェルトのマットを敷いて桜を楽しみ俳句を詠んで抹茶を頂くというものです。



いつも活動着的職員が着物姿でお手前を披露して、普段と違う雰囲気の中で難しい作法もなく楽しんで頂きました。ご利用者の中には、桜も見れて、おいしい物も頂けて最高の幸せ、生きてて良かったわ。」と喜んで下さる方もおられました。

リハビリプラザ門真オープンから3ヶ月。声をはり上げ汗を流して身体を動かす「動の時」と、ゆったりとした「静の時」のプログラムの充実。両者のバランスが絶妙に入り混じって、今日もリハビリプラザ門真は生き生きと展開し、軌道に乗り始めています。



ディセーター  
リハビリプラザ門真  
山本 和子



#### 編集後記

ハートケア通信のご感想・ご意見等を担当ケアマネジャーや当事業所スタッフにお伝えください。俳句・短歌・水墨画等の投稿も歓迎いたします。

ハートケア通信編集部

TEL:072-931-2355 FAX:072-931-2720

#### ハートケアグループ 相談受付

土・日・祝日・年末年始 (9:00~17:00)

090-3676-7733

平日 (フリーダイヤル9:00~18:00)

0120-812-182



### 姿勢の癖を意識しましょう

「なくて七癖、あって四十八癖」などと言いますが、私たちが普段から知らず知らずに行っている癖というものは、なかなか自分では気づかないものです。その中でも今回は、姿勢の癖についてお話ししたいと思います。

みなさんは、椅子に浅く座って背もたれに背中をもたれていたり、上半身が左右どちらかに傾いたりしているということはありませんか? このような姿勢の崩れは一種の癖になっており、麻痺や痛みなどが原因となって起こることもあれば、楽な姿勢を取ろうとして姿勢のバランスが崩れていることもあります。

姿勢のバランスが崩れた結果、転倒しやすくなる、内臓の働きが悪くなる、痛みが出るなど、思わぬところに悪影響が出る場合があります。

そのような時に、普段からの姿勢の癖を意識して見直すだけで、姿勢のバランスを整えることができ、悪影響の予防が期待できます。私たち療法士が提供するリハビリにおいても、姿勢のバランスを整えることは重要な着目点なのです。

まずは、自分の姿勢の癖に気づくことから始めてみましょう。ご自身で鏡を見たり、ご家族に見てもらおうというもひとつの方法です。もし意識しても自分では気づかないときは、ぜひお近くの療法士にお声をお掛け下さい。

メディケア・リハビリ  
訪問看護ステーション  
作業療法士  
桑原 正敏

